**「希望の花」**

　市川政子

私は木陰の一輪の花

太陽に憧れて

ひっそりと根を下ろす

暗闇の中、顔だけは上を向いていた

季節は廻り、風が吹いて、雲が晴れたら、

いつの間にか隣に君が咲いていた

君がいるから、私は輝けるんだ

希望が見えない日もあったけど

決してあきらめなかったこと

間違ってなかったよ

心が穏やかでいられたら

いつの間にかまわりにたくさんの花

一人で居ることに慣れたころ

まわりにはたくさんの花が咲いていたんだ

**「そこに歌がある」**

長岡真智子

一　思いかえせば

　　長い人生歩いて来た

　　悲しい事　辛い事　うれしい時も　喜びの時も

　　思い返せば

　　すべてが人とのかかわり

　　大勢の人達に出会い別れ

　　助けられ　助けあい

　　気付けば　そこに歌があった

　　季節があった

二　厳しい冬も

　　心なごむ春も

　　さわやかな風かおる夏も

　　落葉散る　少しおセンチな秋も

　　全て　そこに歌が有った

　　まんざらでもない　人生の物語

　　みんな居てくれて

　　ありがとう

**「われらうた人（びと）」**

古澤　望

われらうた人

うたうたう

うれしいときは

うたうたう

かなしいときも

うたうたう

いのる気持ちで

うたうたう

泣きながら　うたう

鼻水たらし　うたう

文句言いながら　うたう

弱音はきながら　うたう

うたうことは

祈ること

うたうことは

生きること

みんなで共に

生きること

われらうた人

うたうたう

うれしいときは

うたうたう

かなしいときも

うたうたう

**「７００万年の命つないで今を生く」**

　宮沢みすず

７００万年の命つないで今を生く

世界中の　君も私も　あなたも　あなたも

今を生きる　私たちの命は　一度も途切れることなく

つながれてきたもの　まさに　奇跡

どれだけの人が　産み育て　つないでくれたのか

様々な困難の中でも　生み育ててくれた

尊い命であることを　私たちは知らなくては

その命を　戦争で　人の手で　無残に

断ち切ることを　けっして許してはならない

世界中の全ての人の命は

７００万年前から　つながれた　大切な命

君の　私の　あなたの　あなたの命も

**「あしたがあしたであるために」**

みさかふみお

一　地球が泣いてる 声を聞こう

　　温暖化の波に 命が揺れる

　　この星守るため 今立ち上がろう

　　未来の子供たちの 笑顔を守るため

≪一緒に歌おう

この美しい世界のために

愛と平和のメロディーを響かせよう

あしたがあしたであるために≫

二　戦火の中で 声を聞こう

　　終わらせたい争いに 希望を灯そう

　　すべての人が 夢見た未来

　　平和の鐘を鳴らし 新たな時を刻もう

≪繰り返し≫

三　差別の壁を 壊していこう

　　仕事も生活も 誰もが平等に

　　違いを認め合い 笑顔を広げよう

　　心の中に 平和の種を蒔こう

≪繰り返し≫

**「緑の森は海の恋人」**

たばた　つるこ

水がめ　水がめ

深い森の中に　水がめがあるのを知ってるかい

緑の森に降り込む雨の水

雨がちょっと　寄り道して休む所

土の中の根っ子が集まって作るんだ

水がめに溜まった雨水

酒のように　うまくなる

みんなの命の水になる

走る走る　いそいそと

海をめざし　森の水が走る

海では　腹をすかして魚たちが待つよ

山奥の落葉の下のうまい水

魚の好きな山の水

いそいそと　産みをめざし　森の水が走る

豊かな　緑の森は　海の恋人

**「ふくろう」**

たばた　つるこ

樹がない

樹がない

山に樹がない

切り株に月の光が落ちて

積み上げられた根っ子が水を探す

野太い　ふくろうの声

残されたわずかな森のどこかで

ふくろうが鳴いている

切り株の林に

空しくわたる・・・

ふくろうの声